

編集後記

本会の機関誌を『神道研究紀要』と名づけ、創刊号第一輯をお届けします。十周年記念号として、昨年末に仕上げる予定がいろいろな事情で遅延したことを会員諸氏に深くお詫び申しあげます。

編集にさいし、特に留意した点がある。第一は戦前加藤博士主宰の『明治聖徳記念学会紀要』の精神をできるだけ活かそうとしたこと、第二は別冊として神道古典文献を校訂して付録とされた点に学んだことがそれである。明治聖徳記念学会に戦後研究所としての活発な活動はできなかったが、東山学労働研究所で博士は藤支会、生祠研究会を組織し口述筆記で通信教育に似た活動を続けられた。博士亡きあと、生祠研究会を後生に委嘱された。かようなわけで、十周年記念に博士の遺志を継承し発表する目的で博士記念学会が発足した。創刊第一輯にはこの志をこめた後生たちの願いがこめられている。

会長伊達宮司の題字と巻頭言には第一輯の全容が語られている。十周年記念講演二篇は、一に博士の生祠研究、一はその生涯と学術とについて安津・小林の二氏が原稿をまとめた。研究として谷教授の「跡部良頭の生祠」についての独創的論文を収めた。次に博士と心交のあった生祠研究会関係諸氏の博士の思い出を掲載した。博士の学人としての風格がよくでている。記録として鎌田氏の「十年祭」の記事を収めた。

附録に明治初期の神道教化活動の跡を研究する上に必須の「三條教則」関係資料三篇を校訂の上掲載した。第二輯にもこの後半の原稿がある予定。故河野省三博士旧蔵のもので国大に寄託された稀覯本である。安津教授と同研究室の配慮によるもので感謝にたえぬ。会員諸氏の精読を望んでやまない。右お詫びかたがたご報告まで。

(小林)

本会取扱書籍

加藤 玄智著 錦正社刊
宗教学精要

(残部僅少)
定価 九五〇円
送料 二〇〇円

加藤 玄智著 学績記念出版会刊
神道信仰要系序論

(残部僅少)
定価一、〇〇〇円
送料 二〇〇円

加藤 玄智編 臨川書店復刻版
神道書籍目録 全二冊

頒価 二万円
送料 実費

神道研究紀要(第一輯)
昭和五十一年五月三十一日発行

会費年一、〇〇〇円

編集兼
発行者

東京都渋谷区代々木神園町一―一
明治神宮教学部内
加藤玄智博士記念学会

代表者 伊達 巽

振替口座 東京九一四二五九三番
印刷所 明德印刷出版社